

【授業科目】在宅看護学特論Ⅰ(在宅看護に関わる制度と在宅ケアシステム) Advanced Home Health NursingⅠ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎	1年次前期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>わが国の在宅ケアシステムについて、その背景と現行の諸制度の発展過程、課題を明確にする。諸外国の在宅ケアシステムの特徴を学び、わが国との比較を通じて人口減少社会における在宅ケアシステムのあり方について検討する。これらの知見をふまえ履修者が在宅ケアシステムの1例を選択し、調べ、プレゼンテーションと討議し考察を深める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/提出された課題について総評コメントを授業中に書面・口頭で公開する。</p>					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. わが国の在宅ケアシステムに関する社会背景や現行の諸制度について理解し、考察できる。 2. 諸外国の在宅ケアシステムの社会背景と特徴、課題について理解し、考察できる。 3. 在宅ケアシステムの実例1例を調べ、プレゼンテーションを行うことができる。 4. プレゼンテーション・討議を通じて、より良い在宅ケアシステムのあり方について考察できる。 					
時間外学習に必要な内容・時間	<p>(全回共通) 事前に配布される資料を通読し、疑問・意見等を整理しておく。(各60分) (プレゼンテーション) 文献検索、教員との事前確認、資料作成、および発表後の資料修正の過程に必要な時間を自律的に配分し、準備する。合わせて他の院生の資料は事前に読み、疑問・意見を整理する。 (レポート課題) プレゼンテーション事例について、討議をふまえ必要な文献検討を加え、レポートを作成する。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合: 予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合: 予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合: 予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>第1回 コースオリエンテーション、在宅ケアシステムの基盤となる主な概念</p> <p>第2・3回 わが国の在宅ケアシステム① “ときどき入院、ほぼ在宅”</p> <p>第4・5回 わが国の在宅ケアシステム② “ダブルケア” “ヤングケアラー”</p> <p>第6・7回 わが国の在宅ケアシステム③ “地域共生社会”</p> <p>第8・9回 わが国の在宅ケアシステム④ “ケアマネジメント”</p> <p>第10回 諸外国の在宅ケアシステム① 社会保障制度の視点から</p> <p>第11回 諸外国の在宅ケアシステム② 医療提供体制の視点から</p> <p>第12回 諸外国の在宅ケアシステム③ 家族・コミュニティの視点から</p> <p>第13回 プレゼンテーションと討議①</p> <p>第14回 プレゼンテーションと討議②</p> <p>第15回 プレゼンテーションと討議③</p>					全て 多次
評価方法 評価基準	<p>授業への参加状況 (30%)</p> <p>プレゼンテーション (40%)</p> <p>レポート (30%)</p>					
教科書	特に指定しない		参考書等	適時紹介する		